

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	経済部商工労働観光課	直通電話	72-3166	事業コード	701010204	課内	18	作成日	平成15年8月14日	
	担当者		松田 裕		担当課長		加藤秀樹		担当部長	工藤厚志

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	石狩サービス株式会社運営資金貸付事務	開始年度	S58	終了年度	未定								
		最近の事業内容見直し年度	H14										
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>7010101</td> <td>その他 / その他</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	7010101	その他 / その他				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
7010101	その他 / その他												
3) 個別計画での位置付け													

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	地域暖房地区内の住民に対する安定的な熱供給
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	石狩市内の地域暖房地区における熱供給事業運営の健全化を図る。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	花川北地区の熱供給事業者である石狩サービス(株)に対し、運営資金の一部(50,000千円)の短期貸付を行う。(貸付利率:短期プライムレート)
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	貸付金の担保として事業者の施設に極度額50,000千円の第一順位根抵当権を設定
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	地域暖房による熱供給を行う計画のもと開発された花川北地区において、昭和56・7年に業績不振による料金値上げ方針が同社より発表され、連合町内会等を含めて大きな問題となったことがきっかけとなり、市が同方針を見直すことを条件に同社への運営資金の低利融資を行うことを決め、現在に至っている。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	50,000	50,000	50,000	50,000	貸付金	50,000	
2) その他の間接経費(千円)							
3) 従事正職員の人件費(千円)	493	498	659				
総事業費(1~3の合計;千円)	50,493	50,498	50,659			H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	50,493	50,498	50,659				
市民一人当たり一般財源使用額(円)	913	909	906				
事務に従事した正職員のべ人数	0.06人	0.06人	0.08人				

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
売上高(百万円)	目標値	317	318	318	287	同社売上高(目標値は同社計画値を使用)
	実績値	301	289	294		
	達成率	95.0%	90.9%	92.5%		
	目標値				/	
	実績値					
	達成率					
	目標値				/	
	実績値					
	達成率					

## 5 事業の成果

事業名：石狩サービス株式会社運営資金貸付事務

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
供給戸数(戸)	目標値	1,814	1,814	1,814	1,814	花川北地区地域暖房供給戸数 (目標値は同エリアの建築戸数)	営業報告書
	実績値	1,271	1,268	1,256	目標レベル		
	達成率	70.1%	69.9%	69.2%			
	最終目標	年度に					
暖房料金基本料金(円)	目標値	255	255	255	255	従量制暖房料金基本料金(1,000kj/h/月) (目標値は現行料金～据置き)	営業報告書
	実績値	255	255	255	目標レベル		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
	最終目標	年度に					
借入金残高(千円)	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	同社長期借入金残高(目標値は、市中金融機関借入金0～250,000千円は親会社より)	営業報告書
	実績値	500,000	450,000	440,000	目標レベル		
	達成率	200.0%	180.0%	176.0%			
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	売上高は、計画値を若干下回るものの、おおむね安定している。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	低利貸付により、同社の経営基盤は比較的安定し、料金設定についても平成元年の改訂以来現在(平成10年熱量表示変更に伴う切り替えあり)まで据置かれており、一定程度有効性は認められる。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	地域暖房による熱供給を行う計画のもと花川北地区の開発を手掛けた当市として、同地区の住民に対する安定的な熱供給を推進するための支援を行うことについて妥当性は認められる。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	灯油とガスとの価格格差により、供給戸数は制度設立当初の見込みを下回っており、その傾向は今後も続くことが予想されるが、それでも、その供給率は70%程度で推移しており、当該地区における熱供給事業者の運営状況が及ぼす影響は多大なものがある。費用投下の面から鑑みても、単年度ごとに見直し可能な貸付であり、現段階では必要な担保設定もされており、不良債権に移行する危険性は無い。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	今後の推移を見守りつつ、基本的には事業を継続していく。		課長評価を了承する。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	平成15年度からの第5次改善計画(5ヵ年)の状況を勘案しつつ、必要な見直しがあれば検討したい。
最終評価	寒冷地の本市において安定的な熱供給は必要不可欠であり、料金設定上の有効性が認められる。また、事業者の運営状況は概ね安定していることや担保設定も行って当面不良債権に移行する危険性はないものと思料する。

## 9 平成16年度の方向性

* : 担当課長 : 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
休・廃止			
上についての説明			